

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

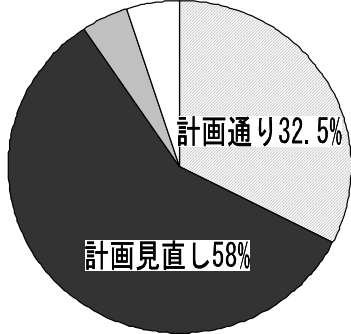
整備進まぬ双柳南部区画整理

計画の見直し必要58%

双柳南部の区画整理事業は平成4年度から始まり、既に23年が経過しています。しかし、進捗が思わしくなく28年3月31日時点で移転戸数は1

32戸、要移転戸数は679戸ありますので、移転率からみると19・4%に留まっています。

滝沢おさむ市議は、岩沢南北の区画整理事業は事業進捗を図ることを目的に平成20年度には事業見直しが行われていることから、双柳南部でも見直しを行い早期に整備を進め、住民の負担を軽減させるよう議会で求めました。市は岩沢南北



市は今年6月、地区住民の今後のまちづくりの進め方などについて、意向を確認するためとしてアンケートを実施。結果が12月公表されました。アンケートは双柳南部区画整理地内を6カ所のエリアに分けて、どの様な用途に利用しているか、現在の整備・利便性の満足度や重要度、事業の進捗などについて回答を求めています。エリアによっては既に整備の進んでいるところや下水道整備が完了しているところもあり、回答にばらつきはありますが、所有している

6ヶ所のエリアに分けてアンケートを実施

また、現在の整備・利便性の満足度では、生活道路の整備に不満・やや不満55・3%、下水道の整備は不満・やや不満48・1%、雨水整備では不満・やや不満61・6%と整備の遅れが目立ちます。整備の重要度では雨水の整備69・4%、下水道の整備67・6%、生活道路の整備は65%が重要。

訃報

常田邦夫さん(80歳)逝去

飯能市議会議員を8期32年つとめた常田邦夫さんが、12月12日逝去されました。常田さんは、一貫して、西武・公団による大規模開発優先のまちづくりを批判し、天覧山・多峰主山の自然を守る先頭に立ってきました。



謹んでご冥福をお祈りいたします。尚、通夜は20日(火)18時、告別式は21日(水)10時です。広域飯能斎場

土地が区画整理されている25・7%で、整備されていないが半数を超えています。

生活道路、下水道、雨水整備に切実な要望

また、阿須小久保線の整備については事業進捗が遅いと感じている方の約6割が早期開通を求めている内容でした。アンケートでも指摘されているように、通学路などの安全確保や緊急車両の進入などへの対応が急がれます。

やや重要と答えています。事業の進捗については早い・やや早いと答えた人は、僅か1・5%、遅い・やや遅いと答えた方は78・8%。今後の事業については58%の方が計画を見直し、長期化を解消した方がよいと答えています。

に生きる社会をつくろう、飯能や日高で活動している人々たちから学ぼうと企画しました。

また、阿須小久保線の整備については事業進捗が遅いと感じている方の約6割が早期開通を求めている内容でした。アンケートでも指摘されているように、通学路などの安全確保や緊急車両の進入などへの対応が急がれます。

だれでもあたりまえに共に生きる社会を

教育・子育てネットワーク主催の「おどる太鼓クラブの公演と萩原さんのお話し」というテーマの講演会が行われました。



七月に相模原市で起きた障害者への死傷事件を受けて、役員会ではそのようなことを二度と繰り返してはならないと考えました。そして、障害のあるなしにかかわらず、だれでもあたりまえに共

緊急
沖縄問題学習懇談会
DVD「いのちの森・高江」上映と現地調査報告と懇談
12月21日(水)
午後6時30分
市民会館201
連絡先 佐藤まで

波紋

12月9日は夏目漱石の忌日でした。今年が没後100年、来年が生誕150年とあって、テレビや出版物で、さまざま特集が組まれています。私は妻夏目鏡子述の「漱石の思いで」を面白く読んでいます。ですが▼漱石は「三四郎」で、「日露戦争に勝つて日本もこれから発展するでしょうね」とたずねる三四郎に、「滅びるね」と中年男に言わせています。この漱石の世の中を見る目、批評眼は、私たちに大切な何かを教えてください。▼来年在生誕150年ということは、武州一揆の翌年に漱石は生まれていたことになりました。漱石の生れた時代と故郷の一揆の時代が交差しているなんてとても不思議な感じ。一揆の最初の集結地の飯能河原には、史跡としての案内板もなく、このままでは「名栗川少年記」の名栗谷もムーミン谷になつてしまうのかも。漱石なら「滅びるね」とでも言うのでしょうか。

美杉台 小学校区

放課後児童クラブの増設を

金子としえ市議の一般質問



金子 美杉台小学校区の中でも、美杉台6・7丁目、茜台地区、征矢町で住宅建設が続いている。人口減少をおさえ地域の元気を取りもどすためにも、朗報ととらえ、市として十分な施策を行う必要がある。美杉台小学校は、11月時点で来年の入学児童は156人で昨年126人から30人増えて、1クラス増となる見込みとのこと。児童クラブ室は、複合施設内の児童クラブ室(定員55人)と、美杉台小学校の敷地内に「しらかば」(定員70名)を増設して対応してきたが、さらに増設が必要だ。複合施設内の児童クラブ室を訪問して状況を伺ったが、ここは、美杉台6・7丁目と茜台地区をエリアとしており、現在、1年生く6年生まで52人が利用しており、中でも1・

2年生が30名と急増している。さらに、美杉台7丁目の71区画もの住宅開発があり、コンビニ周辺の宅地造成もすすんでいる。これらの状況から、美杉台保育所の受け入れの対応や、児童クラブ室の増設をはかり、子育て世帯への十分な施策をすすめてほしい。

健康福祉部長 美杉台地区は、美杉台6・7丁目、茜台などの住宅開発がすすみ新たな住民が増えていることから、将来、保育所や放課後児童クラブの入所希望の増加が見込まれることは認識している。美杉台保育所については、現在の施設規模を考えると最大限の受け入れをしており、今後、保育士が確保されれば、あと数名は受け入れることは可能だ。また、市街地においては保育所に入所を希望する保護者が増えているので、市内全域での既存の施設での保育定員数の増加や、新規事業者による民間保育所の新設により、保育定員の拡大をはかっている。児童クラブ室は2カ所の定員125名を上回る可能性がある。現在考えているのは、美杉台小学校はじめ近隣の空き家、空き事務所、公共施設の利用が可能かどうかを調査している。すべての希望する児童が入所できるような方策を考えているところ。

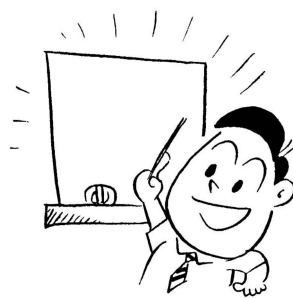
金子 新年度に間に合うのか。

健康福祉部長 定員を上回るような状況であれば対応していきたい。

ないか。

建設部長 龍崖山公園は、平成25年3月共用開始され、駐車場は一般用7台・障害者用1台のスペースをとっている。現在の駐車場に隣接する土地は、公園広場として整備された土地だが、現状を重視して、車止めやフェンスなど簡易的な整備も視野に入れて駐車場として利用できるようにしたい。

公共施設・公共交通で 各地で住民懇談会



公共施設と地域公共交通
通説明会での住民の声
11月25日く全公民館
等で市が開催している
「これからの公共施設に
関する市民懇談会」と
「飯能市の地域公共交通」
を市民とともに考える説
明会を開催しています。参
加された住民の方々の
声を紹介いたします。

「これからの公共施設」
については、市の説明で

地は、公園広場として整備された土地だが、現状を重視して、車止めやフェンスなど簡易的な整備も視野に入れて駐車場として利用できるようにしたい。

幕末に飯能の貧しい農民たちが決起して関東各地に広がって行った「武州世直し一揆」が、語り継ぎたい「武州世直し一揆」の真実の本として出版されました。

今年6月には「武州世直し一揆」150年記念の集会が開かれ、伝統芸能「説教節 佐倉義民伝」の鑑賞、武州一揆研究の第一人者の森安彦氏の記念講演会がありました。講演録のほかに、飯能市内の中学校で使用した教材用資料も掲載されるなど一般向けに編集されています。一冊1080円、問い合わせ042-982-5988 川中さんまで。

理解できるが、飯能の一人あたり公共施設面積が大きいのは、広い地域に公民館などが整備されているので当然である。比較検討に必要な資料として補足が必要だ。◆行政が効率を言い出したらおしまいだ。採算性だけで行政が物を言い出したら地域は成り立たない。◆市が一番大変だと思っていることは何か? ◆矢久橋、清川橋の架け替えはどうなるのかなどでした。

◆スクールのバス利用できないか。など、市街地でも山間地でも移動手段としての公共交通の具体化が強く求められていることが改めて浮き彫りになりました。

地域公共交通問題で 沢山の意見・要望

